



1941年東京生まれ  
1964年早稲田大学卒  
東部フットボールクラブ 前会長  
流山市議当選 2期目

# 市議会 ほねぶとレポート

## 平成29年第2回定例会

平成29年度第2回定例会が7月5日に閉会しました。6月20日から23日まで恒例の「一般質問」が20人の議員から出されました。西川は3日目22日(木)のTOPで、3点について質問しました。うち2点抜粋でご報告します。

1点目は第7期高齢者支援計画(H30～32年)を策定中であり、その基本の関連質問です。

2点目の質問は、増加している人口に伴い児童・生徒も増え、その受け入れ態勢に問題ありとして質問しました。

その1

### 第7期高齢者支援計画の 策定プロセスについて

**質問1:**平成29年度に策定予定となっている平成30年度から平成32年度までの3年間を計画期間とした第7期高齢者支援計画の策定に当たり、第6期高齢者支援計画によって把握された**被保険者のニーズの変化**などをチェックし、分析結果をどう反映させていくのか。

**答弁1:**第6期高齢者支援計画では指摘されたより詳細な分析や地域間比較については、今まで各自治体間においても任意に調査項目が設定されたり、共通の処理シ

ステムが存在しない、専門的知識を有する職員もいないといった理由から実施できていませんでした。

第7期においては、こうした反省点を踏まえ、国によって、全国共通の調査手法・設問の活用、国が整備する「見える化システム」への登録が必須となったことで、自治体間比較や地域参加への意識、参加状況との**クロス集計**が可能となると想定されます。

この結果について、第7期の施策展開において、国からの指針に基づき活用していきたいと考えているとのこと。

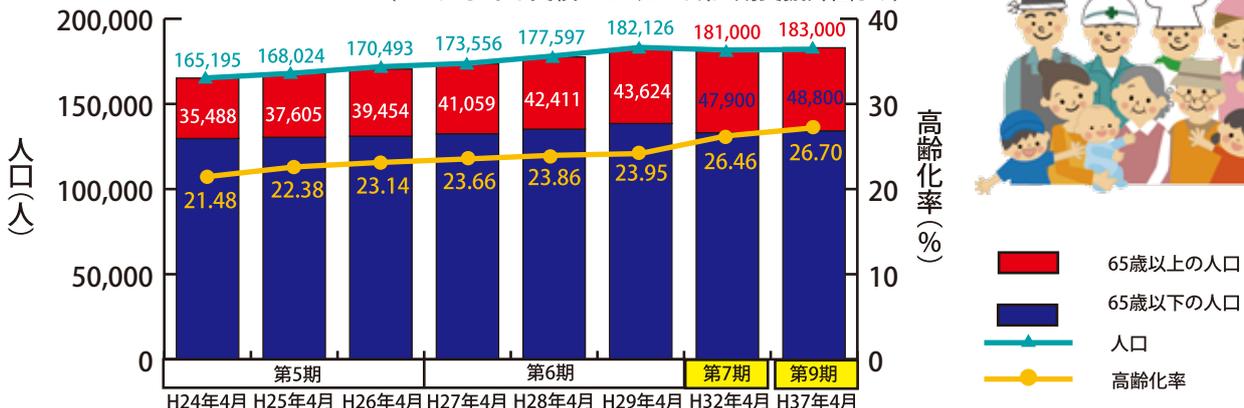
マーケティング手法から考察すると具体的には、地域に、どのようなニーズをもった高齢者が、どの程度・どのような生活をしているのかを把握し、地域の課題や必要となるサービスの分析が必要ということです。

解説

平成27年(2015年)に、「ベビーブーム世代」が前期高齢者(65歳から74歳)に到達し、10年後の平成37年(2025年)には**高齢者人口が約350万人(人口比約30%)に達すると**、推計されている2025年問題にどう対処するのが本旨です。

第6期の最終年H29年4月では既に中期総合計画で想定した人口を超え、182千人超をなっており、今後の第7期(H30～32年)、**第9期(H36～38年…の中間H37年＝2025年)の人口想定をすでに超えており**、再策定が必要となっている。

資料1: 高齢者支援計画・高齢者分布  
(H29/4までは実績・H32、37は第6期支援計画より)



- 65歳以上の人口
- 65歳以下の人口
- 人口
- 高齢化率